

能登震災から何を学ぶ??

202402 減災センター

大地震は何時でも、何処でも起きる!!

阪神淡路も、東日本でも、熊本も「直前の地震予測」では発生確率は低かった。今回の能登地震では、2007年に震度6が発生、2022~23年に群発地震が発生していたが、一部の学者の警告は無視され、当局は「大地震の心配はない」として何も具体的な手は打たなかった。

【**予測や当局発表震度マップを信じるな!!!**

大地震は想定外で起きている】

■日本列島は4枚のプレート上にあり、2000個以上の活断層が地下に存在する

「**世界一の地震大国**です」：「いつでも」「どこでも」!!!

「ここだけは」「自分だけは」大丈夫との「思い込み」「安全神話」は今すぐ捨てて「正常性バイアス」に陥るな!!!

次ページからの目次9項目を皆で、**今日から真剣に考え・対策**しましょう!!!



目次

1. 我が家は新耐震だから大丈夫？
2. 公助は被災後すぐには来てくれない
3. 地震火災の60%以上は「通電火災」
4. 火災は「事前対策」と「初期消火」で被害を十分の一に出来る
5. 被災後外出(避難)での2次災害を減らそう
6. 被災被害の65%は、高齢者・障害者に集中
7. 被災時に「消防・救急」は大丈夫か？
8. インフラ途絶でも最低減の生活を確保しよう
9. 災害関連死を防ごう

我が身を
守る為
要チェック

横浜市の令和6年度予算案に「**地震防災対策強化パッケージ**」に217億円を計上!!
▣【防災ベッド・耐震シェルター】 【家具転倒防止】 【感震ブレーカ】

1.我が家は**新耐震(81年基準)**だから大丈夫??

- 1.複数回の大きな揺れ(熊本)・連続の揺れ(能登)では**新耐震でも耐えられない**  読売新聞20240216「地震から木造住宅を守るには」
 - ①熊本も能登も新耐震の家が崩壊した
 - ②1981~2000年の新耐震も「耐力不足が8割」の調査結果!!
- 2.新耐震の家でも、**敷地地盤**によっては、揺れが大きくなり耐えられない
 - ▣熊本では新耐震の家が、同一町内(距離150M)で、一方は健在、一方は崩壊:**表層地盤**が注目された。
 - ①**盛り土地盤**:南笹野台に多い
 - ②**谷戸盛り土地盤**(液状化リスクも)
 - ③**表層地盤の深さと柔らかさ**:20170409 NHKスペシャル「あなたの家はどうなる?」
- 3.新耐震でも、理想は「1階壁に**耐力壁**」採用  [補強工事の方法 | 補強工事の実例 | 木耐協は耐震診断・耐震補強・耐震リフォームの工務店ネットワーク \(mokutaikyo.com\)](#)

お金がかかるので無理とお思いの方は……

- ▣**最低でも、家具の固定&リビング/寝室に家具を置かない**
(揺れても身の安全を確保するために)

2. 公助は被災後直ぐには来てくれない

(公助:消防車・救急車・警察・自衛隊)

1. 阪神淡路では、被災後1時間で3800人が死亡。

うち、2300人は瓦礫下敷きの「**圧迫窒息死**」

▶『震度7 何が生死を分けたのか』 k.k.ベストセラーズ

被災後1時間では、
消防も救急車も
自衛隊も現場に
来れません

2. 能登でも死因の65%は「**圧迫窒息死**」

▶「瓦礫下敷きでも即死は少なく」、時間切れ「**窒息死**」が多い!!!

▶公助が来る前に、一人でも多くの「**命を救う**」のは、『**隣近所の助け合い**』しかない:南笹野台の『互近助防災』はココに特化!!!

①安否確認で「**異常事態の早期発見**」

②隣近所の助け合い(=互近助防災)

③訓練された実働隊(消火・救出・救助隊)

互近助防災
3点セット

3. 地震火災の60%以上は「**通電火災**」

1. 阪神淡路の火災は、関西電力の停電後の「通電開始」と同期して火災が発生した(東日本の火災原因も通電火災が多かった)
2. 能登の朝市火災も「電気ショート」が発火原因と判明
もし、「**感震ブレーカ**」が設置されていれば、【防げた】火災だった??

対策は3つ: ①停電下での外出時は「ブレーカ断」
②「感震ブレーカ」を設置▪️確実性でこちらをお勧め!
▪️横浜市は市内全域に「感震ブレーカ」設置補助
(令和6年度から2千円/世帯)
③たこ足配線はしない、電源ケーブルは長くしない

4. 火災は「事前対策」と「初期消火」で被害を十分の一に出来る！！

2. ③ 消火ハリアー

1. 事前対策4点セット

- ①耐震家屋に住む
- ②家具を固定化する
- ③感震ブレーカの設置
- ④一家に2台の消火器保有

自分の家は自分(自力)で守る……
我が家の出火で隣に延焼させない。

2. 初期消火の4段階

- ①自宅の消火器で消す■1台の消火器の消火時間は【15秒】:意外と短いよ!
- ②近隣消火器を持ち寄り集団消火■近くに川・池が無い所でコレしかない
5台以上の消火器を持ち寄れるか?
- ③街かど消火ハリアー:リュック背負いで高圧消火ホース運搬
- ④自治会のスタンドパイプで消火

取り扱い容易
持ち運び簡単

庭水道蛇口に接続
重さ7kg、
ホース20m
放水10m・
高さ6m・
価格15万円前後



5. 被災後外出(避難)での2次被害を減らそう

被災後の外出は危険個所いっぱいです。外出(避難)時は
安全な道を選んで歩こう(外出時ヘルメットは必ずかぶろう)

1. **屋根瓦の落下**:どの道が落下危険があるか、平時から意識しておこう
2. **ブロック塀の崩落**:道路沿いで背丈より高いブロックを避けて歩こう。
 - ▣組・班単位で「街歩き」して、「マップ上」に危険マークを付けておこう。
3. **電柱も要注意**(揺れで傾く、トランスがぶらつく)▣出来るだけ近づかない!

6. 被災被害者の65%は、**高齢者・障害者に集中**

- ▣被災後の安否確認で、災害弱者を優先訪問
(安心世帯カードで班内の災害弱者存在認識)
- ▣日頃から、班内で存在認識の共有と対話

7. 被災時に「消防・救急」は大丈夫か？

平時は頼れる存在

1. 横浜市の消防車・救急車の台数

①台数は、平時の火事・事故件数を想定して配備

▪消防車:285台 救急車:100台

②横浜市の大地震被害(横浜市広報)想定

死者:3,300人 全半壊:137,000棟 焼失:78,000棟、

大地震発生直後は、**圧倒的に台数不足!!** 道路陥没・大渋滞で被害現場に公助が到着するのには、相当時間がかかる(阪神淡路も能登も)。

だから

2. **被災直後1時間**は【自分の命は**自分で守り**】、【自分の町は近所で助け合って**自分達で守る**】：これしか助かる方法はありません。

▪南笹野台は互近助防災で「人的被害ゼロ」「焼失家屋ゼロ」を目指す

直後は自分達で頑張っても、大規模火災、大事故対応は消防・自衛隊が最後のツナです

8. インフラ途絶でも最低限の生活を確保しよう

能登では、インフラ(電気・ガス・水道)が1週間から1カ月以上止まった

1. トイレが使えない

- ①簡易トイレの保有
- ②トイレパックの備蓄

今すぐ
チェック

被災後1週間は
自宅で自力で
生き抜ける
準備をして
おこう

トイレが使えない生活を想像できますか？

トイレの我慢はストレス・脱水・万病のもとです。

2. 温かい食事が出来ない

【携帯ガスコンロは必須】
湯煎料理法をモノにしておこう

最低でも【1週間分の食料・飲料水を備蓄しよう】

雑魚寝の避難所は最後の手段

狭い

うるさい

暗い

ひもじい

3. 生活用水の最低限確保(飲料水備蓄だけでは生活できない)

①風呂の水は「捨てないで残して」おく

②雨水タンクの設置 OR 大き目のバケツを満水にして常時庭に

③ロールオーバー備蓄飲料ボトルも生活用水として保存

自治会で井戸を掘るのも!!!

9. 災害関連死を防ごう

阪神淡路：919/6450 東日本:3780/22000
熊本:220/276 能登:14/240・・・関連死/死者

1. 折角生き延びた「命」を失なう【災害関連死】対策

①避難所で:TKB(トイレ、キッチン、ベッド)早期確保

- ▣段ボールベッドと間仕切り(雑魚寝はストレス増大→関連死)
- ▣女性と災害弱者が「安心」して入れるトイレ確保
- ▣特別隔離スペースの確保:インスタントハウス(着替え室、授乳室)
- ▣各種サロンの開設(キッズ、高齢者、趣味、体操、…)でストレス軽減

*避難所キャパ不足で「入所者トライ回し」で高齢者・患者が「関連死」

②自宅・車内で:エコノミー症候群に注意▣熊本でコレが多かった!!!

- ▣定期的な運動を(かかとの上げ下ろし、ふくらはぎの揉み)!
- ▣水分補給▣トイレを我慢しない

2. 以外と気づかない「誤嚥性肺炎」=口腔ケアで予防

- ▣水が無くても「歯磨き」:ペーパー歯磨きシート、ウエットティッシュ、……液体歯磨き、キシトール

口腔内は雑菌の宝庫▣歯磨き

ストレス
ミニマム化

避難
所運営
委員に
左記を
要望
しよう

避難所確保は大丈夫?

自治会でも

- ①トイレパック使用体験
- ②湯煎料理体験講習……
- ③口腔ケア実践講習……
- ④エコノミー症候群体操を自治会イベントの中で企画していこう